

## 「2019年冬期対策に関する申し入れ」団体交渉②

### 【中央地区関連】

1項 土崎駅構内の入換信号機 14L は着雪により確認ができなくなるため、着雪防止のカバーを取り付けること。

#### 組合

・以前は着雪しないようビニールをつけていたが？

#### 会社

・ビニールに着雪してしまい効果がないと判断し、14Lに着雪しないスプレーを吹きかけた。昨年雪が少なく検証が弱いことがあるので引き続き検証する。

2項 車掌用停止位置目標が雪で隠れ前後方の車両確認が困難な状況もあることから、大曲駅・角館駅（下）・田沢湖駅の新幹線ホームの車掌用停止位置目標を見えやすい位置にするなど工夫すること。

#### 組合

・これまで要望してきたことであり実現することに感謝。全てのホームに設置するのか？

#### 会社

・駅からも要望があり大曲・角館・田沢湖駅の上下ホームに、現状ある車掌用停止位置目標に加え、新たに降積雪時でも確認可能な場所へ車掌用停止位置目標を設置する。

3項 男鹿線回 8144D および回 8121D は冬期運用となるが、男鹿駅が新しくなり環境が変化していることから実態を把握し運用を見直すこと。

#### 組合

・騒音の問題なのか？  
 ・過去から留置車両数、留置箇所も変化がある。騒音などの確認はしたのか？

#### 会社

・近隣住民からの声で、取られてきた対策なので、今冬期において変更する考えはない。  
 ・この間、騒音の確認をしてこなかったのは事実。今後のEV導入等の環境変化を考慮していく。

4項 秋田車両センターでは洗浄線の在線時間が輻輳し十分な除融雪対応が出来ない為、作業できる在線時間を確実に確保できる車両運用とすること。

#### 組合

・作業時間に余裕はあるのか？  
 ・雪を落とす、融雪するのはできる限り可能な範囲でということか？

#### 会社

・作業ごとに違うが、20分以上は確保している。完璧に除融雪したい気持ちは理解できるが、どこまで雪を落とすのかということもある。  
 ・そういうことが基本になる。これまであまりにも落とすきれない時は、時間を伸ばしたこともある。

### 【県北地区関連】

1項 東能代運輸区からホームまでの指定通路が凍結するため、傷害事故防止の観点から対策を講じること。

#### 組合

・指定通路が木で出来ている箇所があり滑る。凍結防止の観点から何か対策はあるのか？

#### 会社

・区からも融雪マットの要望が出ているが、優先順位を考慮して判断する。また融雪マットが良いのか含め考えるが、現行はこまめな除雪で対応したい。